

第177回 岐阜落語を聴く会例会 春の会 のご案内

たきがわ りしゅう
瀧川 鯉昇 独演会

期 日 平成28年3月5日(土)

18:30開演 (18:00開場)

年会費 8,000円
(年4回分)

入会金 1,000円

前売券 2,500円

当日券 2,800円

場 所 みんなの森 ぎふメディアコスモス みんなのホール



<瀧川 鯉昇 師匠 プロフィール>

本 名 山下 秀雄さん

出 身 地 静岡県浜松市

生年月日 昭和28年2月11日

出 身 校 明治大学農学部

昭和50年4月 八代目春風亭小柳枝に入門、
「柳若」を名乗る

昭和52年2月 五代目春風亭柳昇門下となる

昭和55年2月 二ツ目昇進、「愛橋」となる

昭和58年 NHK新人落語コンクール 最優秀賞受賞

昭和59年 国立演芸場花形若手落語会 金賞受賞

昭和60年 第5回国立演芸場若手落語会
金賞銀賞の集い 大賞受賞

昭和63年度、平成元年度 につかん飛切落語会

若手落語家奨励賞2年連続受賞

平成2年5月 真打昇進 「鯉昇」となる

平成8年 文化庁主催51回芸術祭 優秀賞受賞

平成17年1月 春風亭鯉昇改め「瀧川鯉昇」となる

紋：変わり根笹 出囃子：鯉 趣味：旅行

ゆったりとした独特の間に、豊かな表情ときめ細かな仕草を加えた落語で、観る者を江戸へと誘う。得意ネタに「味噌倉」「船徳」「宿屋の富」「茶の湯」など。時にネタよりも長くなる枕は、時事の話題を独自の切り口で飄々と語って観客を魅了する。

本会へは平成18年第138回例会以来3回目の出演となる。

岐阜落語を聴く会の御案内

一、発足の主旨

①岐阜落語を聴く会は、三百余年の歴史を持つ落語を日本の貴重な伝統話芸としてとらえ、楽しみながら継承発展させることを目的にした鑑賞サークルであり、決して興業ではない。

②寄席の数も減り、話芸の発表の場に恵まれない現状から、主に若い噺家さんに時間の制限なしに意欲的に演じてもらう会とする。

問合せ先：090-8457-4123 (永縄)